



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月12日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ストライダーズ
コード番号 9816 URL <http://www.striders.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早川 良太郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 兼 CFO (氏名) 梅原 純 TEL 03 (5777) 1891
四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	9,647	44.7	277	48.8	289	48.4	196	45.3
2019年3月期第3四半期	6,665	16.7	186	△15.3	195	△5.4	135	△4.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 230百万円 (72.9%) 2019年3月期第3四半期 133百万円 (△8.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	22.62	22.61
2019年3月期第3四半期	15.23	15.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	5,210	2,230	42.1	256.24
2019年3月期	4,655	2,087	44.5	234.78

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,192百万円 2019年3月期 2,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	19.4	265	22.7	285	23.9	165	117.1	19.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3 Q	8,897,089株	2019年3月期	8,887,089株
② 期末自己株式数	2020年3月期3 Q	340,309株	2019年3月期	57,609株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3 Q	8,690,651株	2019年3月期3 Q	8,884,380株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種経済政策の効果もあり、緩やかな回復基調にあります。

一方、アジア経済につきましては、中国において製造業を中心に一段と弱い動きがみられ、景気が緩やかに減速しており、米中間の通商問題を巡る動向や影響、過剰債務問題への対応、金融資本市場の変動の影響等により、景気が更に下振れするリスクがある一方、東南アジア及び南アジア諸国においても景気回復は概ね緩やかになっています。

このような経済状況下、当社グループ(当社及び連結子会社)は、引き続き、海外における新規投資機会の獲得活動を継続する一方、既存事業における営業拡張や経営の効率化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間は売上高9,647百万円(前年同四半期比44.7%増)、営業利益277百万円(前年同四半期比48.8%増)、経常利益289百万円(前年同四半期比48.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益196百万円(前年同四半期比45.3%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 不動産事業

不動産事業につきましては、株式会社トラストアドバイザーズにおいてマンションオーナー向けのリーシング及び賃貸管理とマンション建物の受託管理を行うレジデンス事業、並びにマンションオーナーの購入・売却ニーズに対応する不動産売買事業を営んでおります。レジデンス事業における管理戸数が引き続き高水準を維持したこと、不動産売買事業における取引が対前年同期比で増加したことから、当第3四半期連結累計期間の不動産事業の売上高は7,434百万円(前年同四半期比61.4%増)、営業利益は226百万円(前年同四半期比55.6%増)となりました。

② ホテル事業

ホテル事業につきましては、現在、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテル、倉敷美観地区エリアで倉敷ロイヤルアートホテルを運営しております。成田ではラグビーW杯等のスポット需要があり、稼働率が対前年同期比で改善したこと、倉敷では近隣競合ホテルの改修等の影響があり、当第3四半期連結累計期間のホテル事業の売上高は1,143百万円(前年同四半期比2.7%増)、営業利益は155百万円(前年同四半期比3.2%減)となりました。

③ 海外事業

海外事業につきましては、インドネシア共和国においてPT. Citra Surya Komunikasiが主として日系企業向けに広告代理店業務を行っております。主要顧客の売上利益計画に四半期ベースでの波動性があった影響から、当第3四半期連結累計期間も計画を下回る状況となっておりますが、年間ベースでは略計画通り進捗しており、その差異は縮小傾向にあります。当第3四半期連結累計期間の海外事業の売上高は640百万円(前年同四半期比4.8%減)、営業利益は15百万円(前年同四半期比57.5%減)となりました。

④ その他

その他事業につきましては、モバイルリンク株式会社において、車載端末システムの開発、販売を、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社において、M&Aに関するコンサルティング業務を、有限会社増田製麺において、中華麺等の製造販売を行っております。

モバイルリンク株式会社において車載端末システムの既往顧客取引が順調に進捗していることから、当第3四半期連結累計期間のその他の売上高は432百万円(前年同四半期比58.4%増)、営業利益は39百万円(前年同四半期は営業損失5百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,216百万円となり、前連結会計年度末に比べ585百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が380百万円、たな卸資産が206百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は1,994百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産48百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は5,210百万円となり、前連結会計年度末に比べ554百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,368百万円となり、前連結会計年度末に比べ273百万円増加いたしました。これは主に買掛金が134百万円増加、1年内償還予定の社債が40百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は1,610百万円となり、前連結会計年度末に比べ137百万円増加いたしました。これは主に社債が150百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,979百万円となり、前連結会計年度末に比べ411百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,230百万円となり、前連結会計年度末に比べ142百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益196百万円を計上した一方で、自己株式が90百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は42.1%（前連結会計年度末は44.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月13日に「2019年3月期 決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,024,206	2,404,606
売掛金	214,318	275,073
有価証券	2,367	587
たな卸資産	176,308	382,956
その他	244,803	183,650
貸倒引当金	△31,518	△30,812
流動資産合計	2,630,485	3,216,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	929,059	889,625
土地	348,663	348,663
その他(純額)	113,118	104,161
有形固定資産合計	1,390,841	1,342,450
無形固定資産		
のれん	173,041	162,028
その他	31,067	25,224
無形固定資産合計	204,108	187,253
投資その他の資産		
投資有価証券	245,953	258,203
関係会社株式	84,276	85,776
繰延税金資産	49,065	45,888
その他	51,804	74,758
貸倒引当金	△1,073	△285
投資その他の資産合計	430,026	464,341
固定資産合計	2,024,976	1,994,045
資産合計	4,655,462	5,210,105
負債の部		
流動負債		
買掛金	92,530	226,738
短期借入金	83,627	90,791
1年内償還予定の社債	20,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	170,258	178,862
前受収益	191,583	182,939
未払費用	102,046	119,424
未払金	109,939	108,444
未払法人税等	29,166	57,001
賞与引当金	30,522	16,398
預り金	120,537	123,017
金利スワップ	27,975	22,265
その他	116,581	182,846
流動負債合計	1,094,769	1,368,730
固定負債		
社債	180,000	330,000
長期借入金	779,754	795,852
退職給付に係る負債	46,892	46,892
長期預り敷金保証金	234,230	210,100
繰延税金負債	162,013	157,746
その他	70,000	70,000
固定負債合計	1,472,890	1,610,591
負債合計	2,567,659	2,979,322

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,582,416	1,583,825
資本剰余金	106,207	107,616
利益剰余金	441,810	638,384
自己株式	△21,814	△112,065
株主資本合計	2,108,620	2,217,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,792	7,404
繰延ヘッジ損益	△27,450	△21,925
為替換算調整勘定	△4,882	△5,788
退職給付に係る調整累計額	△6,091	△4,832
その他の包括利益累計額合計	△35,632	△25,142
新株予約権	3,420	3,402
非支配株主持分	11,394	34,762
純資産合計	2,087,802	2,230,783
負債純資産合計	4,655,462	5,210,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	6,665,232	9,647,288
売上原価	4,881,492	7,324,335
売上総利益	1,783,740	2,322,953
販売費及び一般管理費	1,597,421	2,045,773
営業利益	186,318	277,179
営業外収益		
受取利息	1,688	2,651
受取配当金	79	2,247
受取手数料	19,655	15,731
有価証券売却益	7	500
為替差益	—	733
持分法による投資利益	6,293	5,877
その他	3,927	3,020
営業外収益合計	31,652	30,763
営業外費用		
支払利息	11,435	10,236
社債利息	40	1,312
社債発行費	6,172	4,046
為替差損	4,547	—
その他	421	2,415
営業外費用合計	22,617	18,010
経常利益	195,354	289,931
特別利益		
固定資産売却益	2,797	—
償却債権取立益	96	56
特別利益合計	2,893	56
特別損失		
固定資産除却損	1,014	—
関係会社株式評価損	—	4,376
その他	—	10
特別損失合計	1,014	4,386
税金等調整前四半期純利益	197,232	285,601
法人税、住民税及び事業税	55,619	71,300
法人税等調整額	△4,203	△2,573
法人税等合計	51,415	68,726
四半期純利益	145,816	216,874
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,518	20,301
親会社株主に帰属する四半期純利益	135,298	196,573

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	145,816	216,874
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,899	6,727
繰延ヘッジ損益	1,784	5,525
為替換算調整勘定	△5,629	△1,163
退職給付に係る調整額	1,204	2,467
その他の包括利益合計	△12,539	13,556
四半期包括利益	133,277	230,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,947	207,062
非支配株主に係る四半期包括利益	7,329	23,368

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産事業	ホテル事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,606,294	1,113,191	672,629	6,392,114	273,117	6,665,232	—	6,665,232
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	12	12	△12	—
計	4,606,294	1,113,191	672,629	6,392,114	273,129	6,665,244	△12	6,665,232
セグメント利益 又は損失(△)	145,498	160,214	35,841	341,554	△5,014	336,540	△150,221	186,318

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT関連事業、食品関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△150,221千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産事業	ホテル事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	7,434,645	1,143,172	640,485	9,218,303	428,985	9,647,288	—	9,647,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	3,630	3,630	△3,630	—
計	7,434,645	1,143,172	640,485	9,218,303	432,615	9,650,918	△3,630	9,647,288
セグメント利益	226,465	155,030	15,248	396,744	39,643	436,387	△159,208	277,179

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT関連事業、食品関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△159,208千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。